



我孫子市

Abiko city

令和2年10月27日
定例記者会見資料

将門麦酒(まさかどビール)、我孫子市ふるさと産品に仲間入り!

我孫子市日秀にある将門神社監修の「将門麦酒」が、我孫子市ふるさと産品に選定されました。

アルコール度数は7.5%であり、他のビールとは一線を画す、力強いコク深さが特徴です。この特徴は、本場ドイツ産の厳選した麦芽を複数種類ブレンドし作られます。また、名誉ある賞であるジャパン・グレートビア・アワーズ2019銀賞を受賞しています。

「将門麦酒」は、この将門神社が監修しており、力強くも領民を優しく包み込むような、平将門の人柄をイメージしています。

我孫子と平将門との関わりは別紙資料をご覧ください。

【製造・販売元】

- 有限会社こまいぬ（柏市柏5-8-15）

価格 1本630円（税込み）330ml

【市内販売店】

- 農産物直売所あびこん（我孫子市高野山新田193）

【市内取り扱い飲食店】

※店舗によって価格が異なります。

- 料亭：鈴木屋（我孫子市寿1-10-21）
- インド・ネパール料理：ハリオン（我孫子市若松141-4）
- うなぎ：安井家（我孫子市本町3-5-1）



我孫子市ふるさと産品とは

郷土・我孫子にふさわしい土産品を「我孫子市ふるさと産品」と銘打ち、その地元産品を育成し、永く・広く定着させることで市内産業の活性化を図ることを目的としています。今回の「将門麦酒」を含め、現在26品が登録されています。推奨品など詳しくは市ホームページをご覧ください。



【お問い合わせ】

我孫子市商工会 担当：川野
☎04-7182-3131

我孫子と平将門との関わり

平将門は、現在の茨城県坂東市付近を拠点として活躍した平安時代の武将ですが、平将門について記した「将門記」によると、柏市の大井付近に津（港）を置いたと記され、我孫子も平将門の勢力圏にあったと考えられます。

我孫子市日秀地区には、平将門の守本尊と伝えられる「観音寺（通称日秀観音、我孫子市日秀90）の聖観世音菩薩」、軍馬の飲み水のために掘られたと伝えられる「将門の井戸」、追討された将門の復活を祈願したと伝えられる「将門神社」（我孫子市日秀131）など、平将門ゆかりの地が所在します。

日秀観音の成田街道沿いに佇む地蔵尊は、土地の人が「首まがり地蔵」と呼ぶように片側に首を傾けており、将門調伏の祈祷を行ったとされる成田不動尊を嫌って、将門を敬愛する村人が故意に首を曲げて作られたものと言われていています。また、現在でも、日秀地区の人々の間には、「きゅうり」を輪切りにした様子が平将門の家紋といわれる「九曜紋」に似ているため、きゅうりは縦に切る、将門を裏切って影武者の見極め方を教えた「桔梗御前」という女性を敵視して「桔梗の花を植えない」、といった慣習が伝えられています。



将門神社



将門の井戸 入口



将門の井戸

日秀観音
首まがり地蔵